

提出された意見とそれに対する市の考え方及び修正点

No.	該当ページ	項目	意見の要点	市の考え方
				修正点
1	29	基金の有効活用	私は、リニアモーターカー基金の必要性について疑問を持っております。このお金で、柘植までSLを走らせ、かつて鉄道のまちであった亀山駅を、観光と歴史を感じることもできる、文化あふれる町として内外にアピールできると思います。	<p>リニア中央新幹線亀山駅整備基金につきましては、亀山市基金条例に基づき設置しており、その設置目的に沿って活用を図ってまいります。</p> <p>また、亀山～柘植間のSLの運行につきましては、路線の構造上、困難であるとお聞きしております。</p>
				修正なし
2			<p>■大綱の理念、施策の内容は十分に理解できます。</p> <p>しかし、大綱ではありますが、市政の方針としてこれから実行してくという強い姿勢(決意)を明確にするために次の2点について強い書き振りが必要と思います。</p> <p>①市民との協働ということは、市民側からみれば、「自助」→「共助」→「公助」の順に補完し合っていくことになるのですが、これに対する市の基本姿勢(スタンス)を明記する。</p> <p>②市民から①がより見えやすくするために、機構改革が必要と思います。</p> <p>具体的には、「まちづくり推進局」を新設し、この中にまちづくりを担う部署をすべて配置するというのはいかがでしょうか</p>	<p>①につきましては、様々な分野において、行政を含む地域の多様な主体が役割分担の下で、協働しながらまちづくりを推進する「新しい公共」の取り組みが求められています。</p> <p>この「新しい公共」については、第1次亀山市総合計画の計画期間内において、あり方の確立を目指しておりますので、後期基本計画終了後には明確になってくるものと考えております。なお、「新しい公共」の考え方につきましては、パブリックコメントにおける「参考資料」P10・11に記載しております。</p> <p>また、「自助」、「共助」、「公助」に対する基本姿勢につきましては、本来、総合計画(基本構想)において明記するものであると考えますが、現在は明記しておりませんので、個別計画である本大綱におきましても、明記はいたしていません。</p> <p>上記のことから、本大綱における記載につきましては、見直し案のとおりいたします。</p> <p>②につきましては、平成25年4月実施予定の組織・機構改革における基本方針として、地域づくり支援部門の強化、また、後期基本計画において、地域コミュニティ活動を支援するための職員のサポート体制の整備を掲げております。</p>
				修正なし